

人工林の公益的機能回復に取り組んだ事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・町内に森林を所有されている方からの要望や、町広報による施業箇所の募集を行い、人工林について整備を実施することとした。

今後の展開

・今後も、長年手入れのされていない人工林の整備を進めていき、森林が本来持つ公益的機能の維持増進を図る。

取組の内容

- ・事業主体：世羅郡森林組合
- ・実施場所：町内28箇所
- ・業務委託先：—
- ・業務量：17.47ha
- ・業務金額：7,159千円
- ・業務期間：令和元年12月17日～
令和2年3月16日

取組後の感想

【良かった点】

・事業実施後は、森林所有者から「親の代に植林した木を手入れ出来て良かった」との声が上がっている。

【悪かった点】

・森林所有者と町とで協定を結ぶ必要があるため、協定や事業内容について理解を深めてもらえるよう、地元説明会等の機会を設ける。

施業前



施業後



荒れた里山の景観保全に取り組んだ事例

事業名：里山林整備事業（景観保全型）

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・松枯れ被害が多く、尚且つ事業効果を多くの町民に感じてもらえるよう、世羅町を横断する主要道路である「ふれあいロード」沿いの里山林について整備を行うこととした。

今後の展開

・依然として松枯れ被害跡地や、見通しの悪い箇所があるため、旧町単位で整備箇所を選定しながら健全な里山林へと誘導していく。

取組の内容

- ・事業主体：世羅町
- ・実施場所：世羅町大字黒淵地区
- ・業務委託先：世羅郡森林組合
- ・業務量：6.94ha 459m³
- ・業務金額：10,585,千円
- ・業務期間：令和元年12月24日～
令和2年3月28日



取組後の感想

【良かった点】

・これまでうっそうとしていた里山林へ日が入る事により、景観の向上だけでなく、イノシシなどの動物も近寄りにくくなった。

【悪かった点】

・整備前後の状況を広報する等多くの方に事業効果を感じてもらえるよう改善する。



歴史的文化的文化財と森林が織りなす景観の保全事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・事業実施地は歴史的文化的文化財が多く存在する森林であり、林内には、「いこいの森」や「遊歩道」「展望台」などが整備され、多くの人々が訪れる場所となっている。しかし近年では、小径木が密生し、林内が薄暗くなっている。そこで、甲山史跡・名所伝承保全会が計画を作成し、景観の保全に努め、より多くの人々が自然に親しめる環境を整えるため、本事業に取り組むこととした。

取組の内容

- ・事業主体：甲山史跡・名所伝承保全会
- ・実施場所：世羅町大字甲山地区
- ・業務委託先：—
- ・業務量：16ha
- ・業務金額：33,730千円
- ・業務期間：平成30年度～令和3年度



今後の展開

・引き続き、保全会が中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。

取組後の感想

【良かった点】

・森林整備により、林内に日が差し込み、遊歩道を新設したことにより、多くの利用者に四季折々の自然を感じてもらうことができた。

・新緑や紅葉の時期にはライトアップを行い、昼夜を問わず楽しんでもらえる環境を整えることができた。

【悪かった点】

・案内看板等を設置し利便性を向上させていく。



人々の憩いの場へとリニューアルした事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：世羅町

取組のきっかけ・経緯

・事業実施地は、観光レクリエーション施設に隣接する森林であり、松枯れ被害により枯損木や、倒木などが発生していた。そこで、NPO法人ふるさとの森せらにしが計画を作成し、森林利用者の安全確保や森林整備、保全活動などを行い、人々が集まる憩いの場として提供できるよう本事業に取り組むこととした。

取組の内容

- ・事業主体：NPO法人ふるさとの森せらにし
- ・実施場所：世羅町大字黒川地区
- ・業務委託先：－
- ・業務量：15ha
- ・業務金額：24,142千円
- ・業務期間：平成29年度～令和元年度



今後の展開

・引き続き、NPO法人ふるさとの森せらにしが中心となり、保全活動や森林体験活動を実施していく。

取組後の感想

【良かった点】

・地域住民が集まるサロンや地元小学生を対象とした植樹祭の実施により、幅広い世代の方々が森林と触れ合う良い機会となった。

【悪かった点】

・保全活動や体験活動について、様々な広報媒体を利用し、地域住民へ広く周知すれば良かった。

